

本当の教えに出会うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

# 無碍の一道 第87号

発行 2023年3月5日  
発行者 浄土真宗本願寺派 長尾山天龍寺  
住職 天野英昭  
739-0147 東広島市八本松西6-10-1  
TEL・fax (082) 428-1360

## 春季彼岸会並びに永代経法座

日時 3月23日(木)

ご講師 堀 靖史師(志和東 光源寺住職)

朝席 9時～11時頃

昼席 13時～15時頃

## 第126回歎異抄輪読会

日時 3月16日(木) 14:00～15:30頃

ご講師 松田正典先生(広島大学名誉教授)

費用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です。

## ★ 磯松天龍寺墓苑合同墓春彼岸法要

日時 3月21日(火)15:00～16:00

※ 大変お忙しい時期とは存じますが、多数のご参拝を念じ申し上げます。

但し、天龍寺墓苑合同墓での参拝は、関係者の方のみとさせていただきます。

## ダーナ募金活動のお礼

今年も、ダーナ募金活動にご協力・ご支援等を賜りました事、書面をお借りしまして厚く感謝申し上げます。ご寄付いただきました浄財は、仏教婦人会総連盟事務局を通じてユニセフ、あしなが育英会等また災害見舞金に、志和、八本松地区の福祉施設等に寄付をさせていただきますことをご報告させていただきます。

縁(ゆかり)カフェ 3月25日(土) 14:00～15:30 本堂にて

## 天龍寺仏教婦人会法座のご案内

日 時 4月9日(日) 13:00~15:30頃 (追悼法要 ご法話)

ご講師 伊川 大慶 師(三次市 西覚寺副住職)

### それぞれが、娑婆・無常の世界を生きている存在

度々申してきましたが、勤務していました学校を早期退職させていただき13年が過ぎました。この13年間でご当家、ご当家の悲しい・辛いご縁、すなわちお葬儀のご縁をいただいたことです。

お気を悪くされましたらご理解をいただければありがたいと存じますが、昨年いただきましたご縁を振り返ってみましても、私(65歳)よりも、お若い方のご縁を何度いただいたかと思うことです。

また、90歳を超えられたご両親のかけがえのない一人娘のお嬢様のご逝去されたご縁もありました。お葬儀の際には、ご両親のお二人は、お孫様の助けをかりて二人とも車椅子で参列をされていらっしゃいました。

失礼ながらご両親のお二人は、人生の最晩年に最愛の一人娘様の悲しく・辛いご縁に逢われたと感じさせていただいたことです。

この点も常々申してきましたが、人を花にたとえると花を咲かすことなく散って命も多くあり、花を咲かせることは出来たが、枯れることなく散っていく命もこれほどまでも多くあるのだと、毎年いただくご縁中で、その度に私なりにご指南をいただくことでもあります。このようなご縁をいただきますと、私も含め全ての人は諸行無常の世界の中を生きている存在であると実感させられることでもあります。

一方で、私のように還暦を過ぎても、この世に生があればあったで、相対(比較)の世界を生きている故に、残念ながら日々勝った・負けた、得した・損した、役に立った・役に立たなかった等と海に浮かぶヤシの実のごとく浮き沈みを繰り返し、さらに右から風が吹けば左へ流され、左から風が吹けば右へ流され、物心がついたときから、ただひたすら毎日このような生き方をし、娑婆の縁が切れるまで、今申しました様な生き方をしていくことから、避けることが出来ない存在であると、近頃しみじみ我が身を通して実感することです。

またこの点も13年間のご縁を通してご指南をいただいたことではありますが、大切な方との別れ、思いもよらない病気等も含め、自分に取りまして嬉しいこと、悲しいこと、辛いこと、苦しいこと等、様々なご縁に逢いながら生きていくということも、娑婆・無常の世界の中を生きていくということでもあると還暦を過ぎ考えることです。高飛車ながらある意味、どのような才能に恵まれようが、どのような頭脳を持とうが、だれもが今申しました様な人生をおくらはなくてはならず、65歳を過ぎても今申しました様な生き方をしており、目の前のことに一喜一憂・翻弄されている中で、自分が気づかぬうちに、この境涯を去っていく存在であるのかなとも個人的に考えることでもあります。

さらに何歳になっても、日々それぞれが、自分の目の前にある山の頂を目指し、歯を食いしばって山を登り、山頂に到達しますと一時的ではありますが、喜びに浸ります。

しかし、しばらくしますとまた目の前に新たな山の頂が出てくると思うことです。残念ながら人は煩惱を基盤に生きているために、このようなことを繰り返しながら生きて行かなくてはならないとも考えることです。このことも人が娑婆を生きて行くということだと思っております。

今いる娑婆・無常の世界の中で、出逢う様々なご縁を浄土のご縁、念仏成就のご縁と少しでもいただきながら、ありがたくいただくことは、残念ながら私には難しいところですが、残りの人生を私なりの、往生浄土への道を歩ませさせていただければと思っております。